

国土交通大臣賞 【住宅リフォーム部門】

リフォーム前後の写真



①庭（バルコニー）に続く町家の通り庭のような土間にキッチンと床座のリビングが面する



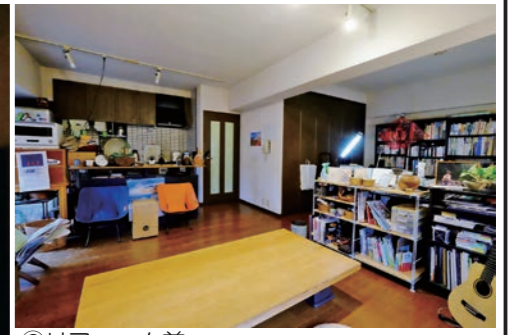
②床座リビングと一体の土間キッチン



③本棚に囲まれた書斎



⑤土間キッチンから部屋全体が見渡せる



⑥リフォーム前 新築で25年暮らしたキッチンとリビング



⑦リフォーム前リビング(座卓は四半世紀使用)



コミュニケーションを誘発する土間キッチン



④友を出迎える玄関



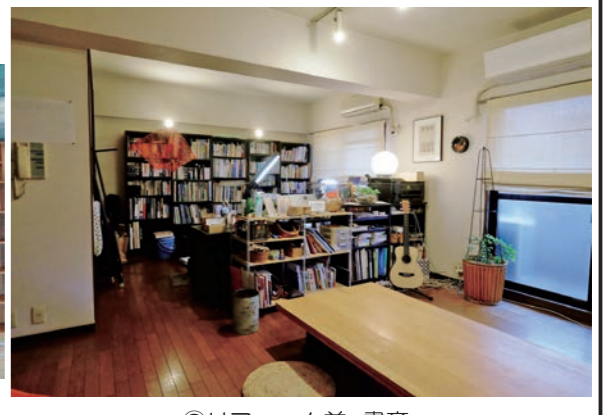
庭（バルコニー）で友とのバーベキュー



四方から使い、交流の要となる土間キッチン



施主自ら塗装



⑧リフォーム前 書斎

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

息子の独立で、二人暮らしに戻ったのを機に、共働きの忙しい生活の中だからこそ、ゆったりとした暮らしを楽しめ、友との交流も促せる、開かれた心地よい場創りを考えた。ルーフバルコニーを庭に見立て、玄関から庭に抜ける土間を創り、土足で使うキッチンを選んだ。多勢の会食では、庭でBBQ、準備と片付けも来客と共に土間キッチンで行う。最初から最後まで土足での活動が、より深いコミュニティを醸成している。一方、土間沿いは板敷とし、四半世紀使ってきた座卓を据えた、日

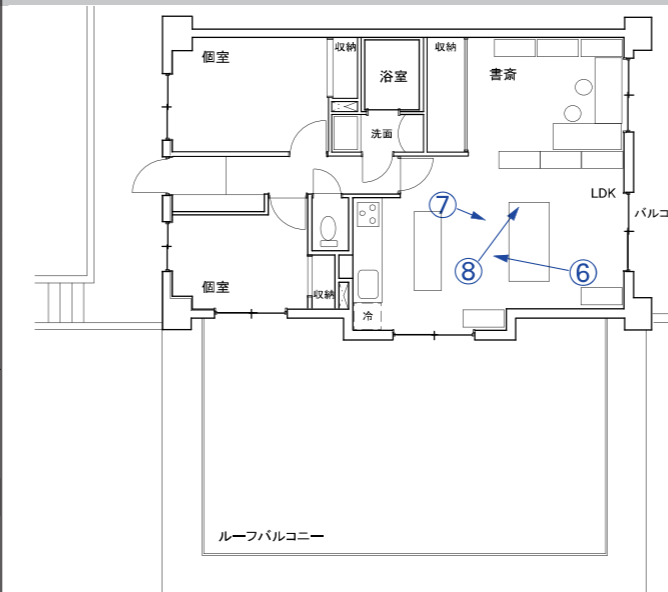
本古来の床座主体の暮らしは、昔の農家の如くである。はたきと帚で掃除をし、砂時計を使って料理する、新しくて懐かしい生活が展開している。床から天井までの収納と本棚は、安価なMDF無垢材、施主と友人で塗装をし、空間とも友とも愛着を深めた。三方開口の角部屋がワンルームになり、通風は抜群。外壁のウレタン吹付、内窓に障子を設え、断熱も大幅に改善。コロナ禍で、より人との繋がりの重要性を感じるようになった今、ゆったりとした暮らしと友との交流を深める「千客万来庵」である。

性能向上の特性
外壁断熱材、内窓障子設置。
ワンルーム化による3面開口で通風確保

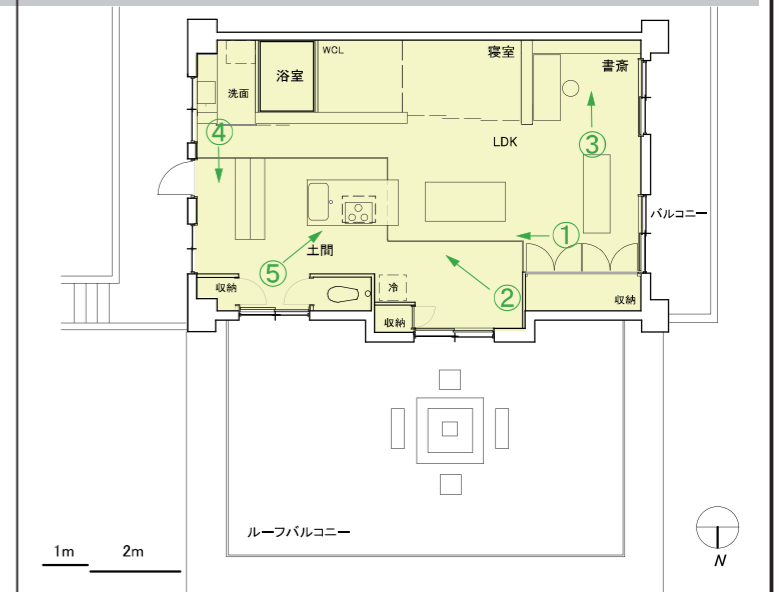
特に配慮した事項
バルコニーに続く土間に置かれた開かれたキッチン。CO₂削減のため、ビニール系仕上げ材を排除。緻密な収納計画と、家具による間仕切。

所在地	福岡県福岡市	新築竣工年	1994年	築後年数	27年	施工期間	90日間
該当工事床面積	67.08㎡	総工事床面積	67.08㎡	該当部分工事費	1100万円	総工事費	1100万円
居住者構成	65歳以上：0人 / 40～64歳：2人 / 15～39歳：0人 / 14歳以下：0人 /						

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □エントリ/ □マツヨリ共用部分/ □その他